

第4回シンポジウム 『健康と自然免疫』

日時 平成27年3月27日(金) 13:00~17:15 (12:00受付開始)

場所 笹川記念会館 第1,2合同会議室 鳳凰の間
(東京都港区三田3-12-12)

入場料 一般:1,000円 学生:500円 (※交流会:5,000円)

定員150名:申込先着順

プログラム

13:00~13:15 開会挨拶

自然免疫制御技術研究組合 代表理事 杉源一郎
経済産業省製造産業局生物化学産業課
一般財団法人バイオインダストリー協会

13:15~15:15 講演 (前半の部)

座長 杉源一郎 (自然免疫制御技術研究組合 代表理事)

(13:15~14:15) 「アレルギー病はなぜ増えたかーきれい好きの功罪検証ー」

藤田 紘一郎 氏 (東京医科歯科大学名誉教授)

(14:15~15:15) 「北海道における食品臨床試験の事例紹介と将来展望」

西平 順 氏 (北海道情報大学 健康情報科学研究センター長 教授)

15:15~15:30 休憩

15:30~16:30 講演 (後半の部)

座長 杉源一郎 (自然免疫制御技術研究組合 代表理事)

「融合医療と自然治癒力」

丹羽 正幸 氏 (医療法人社団 丹伎会 丹羽クリニック院長)

16:30~17:10 パネルディスカッション

藤田紘一郎氏、西平順氏、丹羽正幸氏、杉源一郎氏

17:10~17:15 閉会挨拶

自然免疫制御技術研究組合 副代表理事 上田 和男

17:20~19:20 交流会

主催 自然免疫制御技術研究組合

後援(予定) 経済産業省、独立行政法人科学技術振興機構、国立大学法人香川大学、公益財団法人北海道科学技術総合振興センター、一般財団法人バイオインダストリー協会、公益財団法人かがわ産業支援財団、四国経済連合会、一般財団法人四国産業・技術振興センター、一般財団法人雑賀技術研究所

◆問い合わせ先

〒761-0301 香川県高松市林町2217-16 FROM香川 バイオ研究室

自然免疫制御技術研究組合(乃万・中田) TEL:(087)813-9201 FAX:(087)813-9203

第4回シンポジウム『健康と自然免疫』開催にあたり

「自然免疫制御技術研究組合」は、糖脂質(リポ多糖、LPS)等を用いて自然免疫を制御する有用な技術を開発する目的で、平成22年3月8日、経済産業省の認可を受け、全国で12番目、四国では初めての技術研究組合として設立されました。現在、自然免疫活性を制御するさまざまな新規な素材の研究開発に取り組むとともに、自然免疫制御による健康維持戦略の確立に向けリテラシー向上にも力を注いでおります。

今回、ご案内申し上げます「第4回シンポジウム『健康と自然免疫』」は、こうした活動の一環として、現在社会的課題とされている健康寿命の延伸と直結する“健康を維持する「自然免疫」”の視点で多くの皆様にご紹介することを目的として開催させていただくものです。

超高齢社会を迎えて「病気になってからの治療」から「病気の予防」への転換により「健康で長寿」の達成が求められています。事実、未病や予防などに向けた新たな視点での健康維持に関する研究が広がりを見せています。そこで、今回は、講師に東京医科歯科大学 藤田紘一郎名誉教授、北海道情報大学 西平順教授、医療法人社団丹伎会 丹羽クリニック 丹羽正幸院長をお迎えして、一般から専門にわたる御講演を頂き、その後のパネルディスカッションでは会場の皆様にもご参加頂き、活発なご討議を頂くことを企画しています。

日本が長寿国家であることは誇るべきことでありますが、その一方で、高齢化に伴い医療費が増加している事実にも表れているように、必ずしも健康とは言えない状態にある高齢者も少なくありません。どうすれば高齢になっても活動的な生活を営むことができるのか、今後の大きな課題の一つであることは疑いありません。その具体的な取組として、人間を含む生物に元来備わっている「自然免疫力」の低下を抑え、さらに、その力を100%活用することにより、疾患リスクの低減を図り、病気からの回復速度を早めることなどが考えられております。

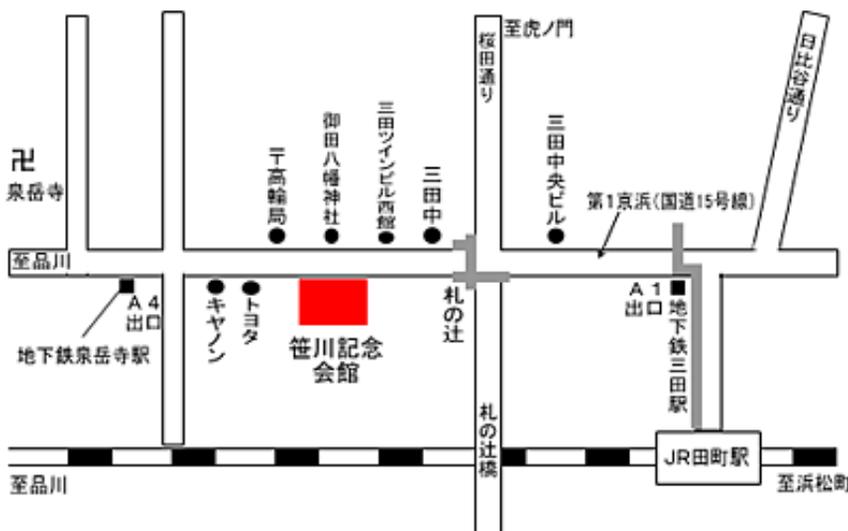
こうした中、生物は脳、神経、免疫だけでなく、共生細菌などの外部環境も含めて多くの要素が相互に関係して個体としての生命が統合的に制御され、身体の健康が維持されており、それら相互関係の基盤となっている「自然免疫」は、健康寿命の延伸を達成する上で重要な役割を担っていると考えられるようになっております。

本シンポジウムは、こうした認識を踏まえて開催させていただくもので、ご講演が自然免疫を制御することで「健康で長寿」を実現する上で、皆様に新たな手がかりを提供するものになると期待しております。そして、このことは、健康寿命の延伸を図るに留まらず、医療への過度な依存を減らし医療費の削減にも資する取組でもあると期待されます。

本シンポジウムが免疫関連の研究者、予防医療や健康産業に携わっておられる各界の皆様、そして免疫に興味をお持ちの皆様に、自然免疫に関する研究と開発の現状やこれからの展望を理解していただく機会になれば誠に幸いと存じます。

たくさんの方々にご出席を賜りますよう、ここにご案内申し上げます。

笹川記念会館アクセスマップ



最寄りの交通機関

- ・JR田町駅
三田口より徒歩8分
- ・都営地下鉄三田線
三田駅より徒歩6分
- ・都営地下鉄浅草線
泉岳寺駅より徒歩3分

笹川記念会館

〒108-0073
東京都港区三田3-12-12
TEL : 03-3454-5062

講演者紹介



藤田 紘一郎 氏

東京医科歯科大学 名誉教授

1939年、中国・旧満州に生まれる。東京医科歯科大学医学部を卒業後、東京大学大学院医学系研究科博士課程修了。医学博士。テキサス大学留学後、金沢医科大学教授、長崎大学医学部教授、東京医科歯科大学大学院教授を経て、2005年4月より東京医科歯科大学名誉教授、人間総合科学大学教授。2014年4月より東京医科歯科大学名誉教授。専門は感染免疫学、寄生虫学、熱帯医学。1983年に寄生虫体内のアレルゲン発見で小泉賞受賞。2000年にヒトATLウイルス伝搬経路などの研究で、日本文化振興会・社会文化賞及び国際文化栄誉賞を受賞。

腸内環境と免疫の研究、寄生虫とアレルギーとの関連を疫学および免疫学的に研究、感染症と水の研究を続ける一方で、生態系から見た現代の人間社会のゆがみを追究している。



西平 順 氏

北海道情報大学 健康情報科学研究センター長 教授

1979年北海道大学医学部医学科卒業後、横須賀米海軍病院インターン、同大学医学部内科学第二講座医員、生化学第二講座研究員を経て米国ノースカロライナ州ウェイクフォリスト大学医学部にリサーチフェローとして留学。活性脂質、主にアラキドン酸代謝について研究に従事。1992年北海道大学大学院医学研究科中央研究部講師、2001年に同大学大学院医学研究科分子医化学分野助教授に就任。2014年から同大学医療情報学部長。江別市立病院糖尿病外来担当医師としても臨床研究に従事(2006年～)。フィールド研究として、食品の臨床試験“江別モデル”を構築し、食と健康について地域活動を行っている。日本糖尿病学会、日本免疫学会、日本医療情報学会で活動を行っている。



丹羽 正幸 氏

医療法人社団丹伎会 丹羽クリニック 院長

医学部在籍より東洋医学研究会に所属し、漢方の第一人者、石原明医師に師事。漢方のみならず鍼灸、アーユルベータ、チベット医学、食養法など東洋医学の研鑽を積む。外科医時代より、疾病時における変形した内臓と歪んだ筋肉・骨格系の相対関係に着目。解剖学的観点と東洋医学的観点から丹羽式正體術を考案。治療効果の高い療法を探求し、多くの療法の研鑽を積む。臨床経験を通じ、確実な治療効果が検証された独自の治療法を創り上げ、あらゆる疾患に適応可能な医療体系を構築。融合医療を用いて自然治癒力を高め、ガン・糖尿病・アトピー性皮膚炎などの難治性疾患に数多くの治療実績を持つ。長年にわたる免疫細胞療法の研究成果により、丹羽式免疫細胞療法として治療システムを確立。癌、間質性肺炎、閉そく性肺疾患、喘息、BおよびC型肝炎、急性胃炎、胃・十二指腸潰瘍、過敏性大腸炎、子宮筋腫、卵巣腫瘍、関節リウマチ、アレルギー性鼻炎、乾癬、脳梗塞、パーキンソン病、うつ病、自律神経失調症等に著しい治療効果を上げている。

座長紹介



杉 源一郎

自然免疫制御技術研究組合 代表理事

東京大学薬学部卒業。1983年東京大学薬学博士、帝京大学生物工学研究センター助教授、教授、1989年同センター副所長。2000年徳島文理大学健康科学研究所教授、同大学院教授を歴任、2007年より香川大学医学部統合免疫システム学講座客員教授、2014年より新潟薬科大学特別招聘教授。東京理科大学総合研究機構(戦略的物質製剤学研究基盤センター)客員教授を兼任。

第4回シンポジウム『健康と自然免疫』参加申込書

参加ご希望の方は、以下の太線枠内に必要事項をすべてご記入の上、FAXまたは電子メールにてお申し込みください(個人で参加される方は、連絡先とお名前のみご記入ください)。

★先着順にてお申込の受付を致します。席に限りがございますので、定員に達した場合はお断りさせて頂く場合もございます。予めご了承下さい。

企業・団体・大学名		
連絡先	TEL:	FAX:
	電子メールアドレス:	
	ホームページURL:	

お名前	所属・役職	交流会【17:20~19:20】 (どちらかに○を付けて下さい。)
		参加 ・ 不参加

◆事務局よりのご案内

本シンポジウム終了後、同会場5Fレストラン菊にて「交流会」(会費:5,000円※)を開催します。奮ってご参加下さい。
(※当日、受付でお支払下さい)

◆お申し込み先◆

FAX:(087)813-9203 / 電子メール:ciitra@shizenmeneki.org

本シンポジウムを知ったきっかけ (☑を入れてください)	<input type="checkbox"/> 本組合ホームページ	<input type="checkbox"/> シンポジウムちらし
	<input type="checkbox"/> 知人・取引先の紹介	<input type="checkbox"/> 新聞記事(新聞名:)
	<input type="checkbox"/> その他()	

※ご提出いただいた個人情報、本シンポジウムの目的以外には使用いたしません。

◆問い合わせ先

〒761-0301 香川県高松市林町2217-16 FROM香川 バイオ研究室

自然免疫制御技術研究組合(乃万・中田) TEL:(087)813-9201 FAX:(087)813-9203